

さいたま市エコドライブ取組方針(Saitama Smile-Driving Project)の概要

【問い合わせ】
環境局環境共生部環境対策課
大気交通係
米澤
TEL:829-1330 内線3136

Saitama
Smile-Driving
Project

趣旨

エコドライブは大気汚染防止、地球温暖化対策に有効な取組であり、同時にエネルギーコスト削減、交通事故防止にもつながるものである。その普及のため、市の率先行動として取組方針を定め、実践を図る。

効果

環境効果:二酸化炭素 約610t 削減*

経済効果:エネルギーコスト 約3200万円 節約*

安全効果:交通事故の減少

お財布も Smile!



地球も Smile! ひとも Smile!

※ 市公用車の燃料使用量が平成18年度比で28%削減した場合の年間の値(平成29年3月燃料価格から算出)

目標(平成28年4月1日改訂 平成29年度末まで)

(1)職員によるエコドライブ実施率を100%とし、かつ重点項目(後述)の実施率を80%以上とする。



※但し、消防局等の自動車を除く

(2)公用車の走行距離あたりの二酸化炭素排出量について、平成18年度比で28%削減する。

位置づけ

さいたま市交通環境プラン

さいたま市地球温暖化対策地域推進計画

さいたま市地球温暖化対策実行計画

行政としての率先行動

具体的な取組内容

さいたま市エコドライブ取組方針

取組内容

エコドライブ10項目の実施を推進する。また、その内3項目については「重点項目」として重点的な啓発を図る。

取組を推進するための活動

- ①公用車運転席へのエコドライブ掲示
- ②燃料使用量、燃費の把握とフィードバック
- ③職員研修会等の実施
- ④「エコドライブの日」の全庁への啓発
- ⑤実施状況調査 他

○エコドライブ10項目

- (1)ふんわりアクセル『eスタート』
- (2)加減速の少ない運転
- (3)早目のアクセルオフ
- (4)エアコンの使用を控えめに
- (5)アイドリングストップ
- (6)自分の燃費を把握しよう
- (7)道路交通情報の活用
- (8)タイヤの空気圧をこまめにチェック
- (9)不要な荷物は積まずに走行
- (10)駐車場所に注意

※赤字は重点取組項目



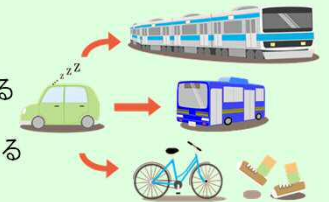
エコドライブ実施中
公用車にはエコドライブステッカーを貼付



←「エコドライブの日」にはのぼり旗を立て、来庁者へもエコドライブを啓発

特徴

- エコドライブに取り組む以前に、自動車の使用を控える
- 重点取組項目を定め、優先度の高いものから啓発を図る
- 職員研修等で必要な知識の習得と意識向上を図る
- 毎月22日を「エコドライブの日」とし、全庁への啓発を図る
- 職員にはマイカーでの取り組みについても努力を促す



【参考】市民・事業者へのエコドライブの普及

【基本的な考え方】

「さいたま市エコドライブ取組方針」により、率先行動を実施しつつ、市民、市内事業者に対し、エコドライブを普及する。

- ①事業者や市民との協働によりエコドライブの普及を図る。
- ②他都県市との連携によりエコドライブの普及を図る。
- ③【知る→理解する→実感する→実践する】というステップによりエコドライブの普及を図る。

(事業例)

- ①すべての市内指定自動車学校にエコドライブ普及員を養成し、エコドライブを学べる場を市民・事業者へ提供する。
- ②事業者向けエコドライブセミナーを開催し、優秀なエコドライブ活動等の紹介など、市内事業者への啓発、情報提供を行う。
- ③エコドライブ活動に率先して取り組んでいる市内事業所に対し、市のホームページなどに掲載する等のPRを行う。
- ④環境イベント等で、市民へエコドライブの啓発、情報提供を実施する。
- ⑤九都県市と連携した取組を実施する。